

## 江戸の 疫病対策

江戸の人々が火事や地震とともに恐れたのが疫病、つまり伝染病や感染症の流行です。特効薬のない時代、疫病への江戸の人々の対策は、神仏に祈り、流行が収まるのを待つことだったようです。

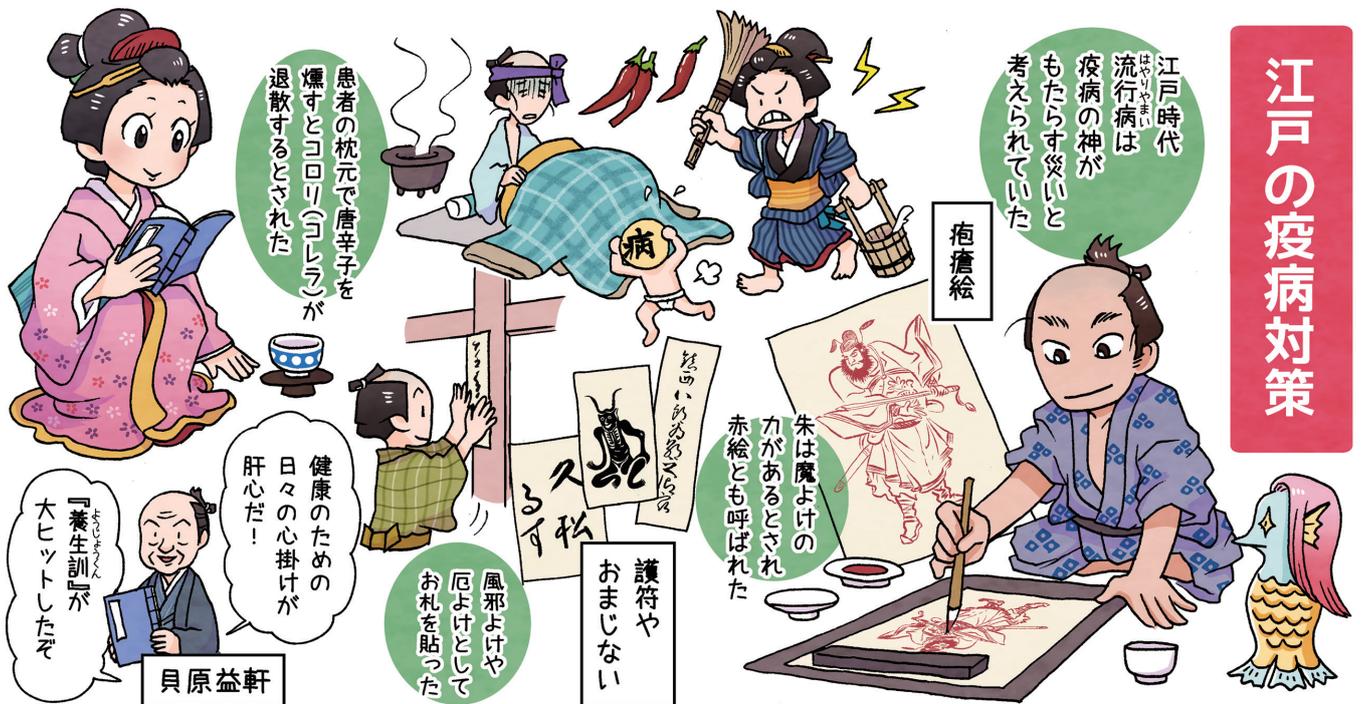


イラスト: 桐丸ゆい

### 感染症は周期的に流行した

江戸の人々は天然痘(抱瘡)、麻疹(はしか)、水抱瘡を人生の「お役三病」と呼び、これらの病気にかかり、そして回復すれば、その後は安心と考えていました。免疫ができて二度とかわからないことを知っていたからです。しかし、それらの病気が流行すると、短期間で想像を絶する数の人命が失われました。

また、風邪の流行でも大勢亡くなりました。風邪といっても、今でいうインフルエンザやコロナウイルスなどの感染症です。数年から十数年で周期的に流行する風邪に、人々は「お駒風」、「谷風」、「琉球風」などとネーミングして記憶しました。幕末に流行したコレラは、急に死ぬことから「コロリ」と呼び、その恐ろしさ、不気味さを「狐狼狸」や「虎狼痢」と書いて表しました。

### お札を貼って巣ごもり

疫病に特効薬がなかった時代ですから、人々はなす術もなく、神社仏閣に参拝したり、願かけやおまじないをして病気の退散を願いました。歌舞伎に出てくる病鉢巻きは、もともと漢方薬としても用いられる染料の紫根で染めた絹を、病気平癒のために巻くことからはじまりました。魔除けの効果があると信じられた赤色を使った絵やお札も、病気が流行すると人々がこぞって買い求め、お札を戸口に貼って家に閉じこもったようです。

幕末のコレラ対策では、幕府は洋書調所に洋書にある感染予防の翻訳を命じています。そこには、「身体や衣服を清潔にする」「室内の空気を循環させる」「適度な運動」「節度ある食生活」などと書かれてそうです。

# 家族のためだけの自分史・家族史が “時代の記録”になる

境 捷彦 氏・著

「真っすぐ、正しく～境家のお話～」から

家族に読んでもらえばいい、そんなつもりで書いて、少部数発行した自分史・家族史も、立派な「時代の記録」になります。「本を作る」と大袈裟に考えず、自身や家の記録、写真や趣味で収集したものをデータで残してみてもいいかがですか。境捷彦氏がまとめ、今年6月に当社・諏訪書房で刊行した『真っすぐ、正しく～境家のお話』も、昭和・平成の貴重な資料となる内容が収録されています。



『真っすぐ、正しく～境家のお話』は著者の境氏の自分史や、家族や親しい人との旅行記を中心に、関係者の寄稿や資料・写真アルバムで構成されています。中でも、境氏の生家、東京・文京区弥生町の下宿屋「真正館」の資料や、「帝大出の下宿屋のおやじ」として週刊誌等で取材された記事などは、後世に残したい資料です。

家族やごく親しい方のために少部数をオンデマンド出版※で発行した私家本で、一般への販売はしません。そのため出版物としての制約が少ない分、家族や親族のプライベートな情報も載せています。子供や孫たちに「家の歴史」を語り継ぐためのものです。

個人の記録でも、青少年時代に鑑賞した映画のパンフレットや昭和39年の初任給給与明細など、「時代の記録」となる資料も満載です。私家本ですから一般販売はしていませんが、国会図書館に納本されています。いつか、昭和・平成の資料として、歴史家の目に触れるかもしれません。

※オンデマンド出版とは

書籍類の必要部数を1冊から印刷・製本して販売する出版形態。印刷物では「最低ロット」があり、書籍でも500冊未満は割高になってしまいます。ページ数や装丁等にもよりますが、フルカラーの冊子であれば100冊程度までなら、オンデマンド出版がおすすめです。

## 『真っすぐ、正しく～境家のお話』

平成9年7月に境亨兄さんから『桓武天皇の本流一良文千葉氏族—(境家についての考察)』をいただきました。現地調査、シンポジウム参加、大運寺の調査などでまとめた兄さんの力作です。後世、境家に残すべき資料としてまとめられれば良かったのですが、無為の裡に時間が過ぎ、境亨さんも逝去され、残念ながら資料はそのままになっています。今回は家系図と法名のみしか収められませんでした。これから先は残念ながら、境家の歴史に興味を持った子孫に期待するしかありません。

自分史につきましては、数年前に郁文館と中央大学の後輩である諏訪書房・中川順一社長の中央大学クレセントアカデミー社会人講座「自分史作成」に参加し、授業で作成した駄文を中川さんに褒められたのがきっかけです。

当時、足の肉離れに襲われ満足に歩行できない時期でしたが、マイカーで市川の自宅から中大多摩校舎まで通ったことも懐かしく思い出します。『真っすぐ、正しく』は、中川さんが熟慮の末に「御下宿真正館」から考えてつけてくれました。

(「あとがき」より抜粋)

自分史・家族史、  
自費出版のご相談は  
諏訪書房まで

自費出版では、印刷にかかわる費用のほか、編集や取材・執筆にかかわる費用などが発生することもあります。諏訪書房では企画内容のご相談から執筆支援まで、依頼者のご要望に応じてお手伝いしています。お気軽にご相談ください。

※高額な費用請求や買取要求など、出版をめぐるトラブルが生じています。出版にあたっては、信頼できる業者にしっかりと契約のもとで依頼しましょう。



真正館関係資料説明▶

私が育った家は、文京区弥生町、東大弥生門を出てすぐの下宿屋「真正館」です。物心ついたときには父・建造と母・ふみが下宿を切り盛りしていました。

若かりし頃、東京帝国大学へ入学するため佐賀から出てきた父は、在学中にここに下宿し、下宿の女将の姪である母・ふみと結婚しました。大学を出て生命保険会社に務めていた父が、どんな理由で「下宿のおじさん」となったのかは定かではありませんが、大勢の学生の世話をし、送り出してきました。(本文より)



▲映画パンフレット

### 優しいお巡りさん

小学生だった昭和27年頃、神田で映画を観て、その帰宅途中のことでした。東京大学構内を龍岡門から入り、構内がまさに漆黒の夜道となっている中を歩いていたら、お巡りさんが声をかけてくれました。そして、自転車の後ろに僕を乗せて、弥生門まで送ってくれました。

優しいお巡りさんでした。でも僕は、その日見た映画のプログラムをジャンパーに隠し、緊張して自転車に乗っていました。映画は『地上より永遠に』。フランク・シナトラ、デボラ・カーの共演で、真珠湾攻撃前夜が舞台のドラマ。熱烈なラブシーンもある映画だったので、大人の観る映画を観てきたことがお巡りさんにわかったら、怒られると思ったからです。(本文より)

### のらこみ 関係者の本

## 働き方改革で伸びる女性 つぶれる女性

東谷 由香・著

日本経済新聞出版  
1,650円+税



「働き方改革」とともに推進される「産休・育休」「時短」「女性管理職登用」——すべて「勘違い」の宝庫!! という著者が、働く女性に贈るメッセージ。経営コンサルタントらしく「働き方改革」を経営サイドの視点も交えて述べており、男性経営者・管理職にもぜひ読んでほしい1冊。

#### 著者プロフィール

株式会社ウーノ・アクティブ代表取締役。企業研修講師。中央大学経済学部卒。中央大学大学院MBA。子育ての後、日本経営協会の専任講師を経て、2010年、人材育成研修と顧客満足度・社員意識などの調査を請け負う(株)ウーノ・アクティブを設立。上場企業を中心に女性向け管理職研修なども手掛けている。

### 浮世絵で悪質セールスを撃退!



東京オリンピックで海外から多数の観光客が訪れるはずだった今年、「日本の芸術文化」を喧伝する材料の一つとして、「浮世絵」を用いたさまざまな企画が展開されるはずでした。しかし、残念ながらオリンピックは開催されず、「浮世絵」イベントの多くも順延や規模縮小となっています。

そのような中、当社では緊急事態宣言中も闊歩する悪質な訪問セールスへの注意喚起を、浮世絵仕立てで制作し、大変好評をいただいています。

#### INFO MATION

東京都美術館で「The UKIYO-E 2020 — 日本三大浮世絵コレクション」が9月22日まで開催されています。日本国内の三大浮世絵コレクション(太田記念美術館、日本浮世絵博物館、平木浮世絵財団)から選りすぐりの名品が約450点も展示されています。日本文化の粋、浮世絵をもっと知りましょう。

# まんが・イラストでみる 江戸の暮らし 衣・食・住 仮

2020年9月  
発売予定!

まんが・イラスト  
桐丸 ゆい

1,000円+税 (予定)

諏訪書房 / A5判

112ページ (カラー+モノクロ)

※タイトル、価格、仕様は変更になる場合があります



NOW PRINTING

アパート・オーナー向け冊子「ポケット倶楽部」で人気連載中の江戸のまんが+コラムが、たくさんの書き下ろしを加えて1冊の本になりました!

江戸の人々はどんな暮らしをしていたの? どんなものを食べていたの? どんな格好をしていたの? ……桐丸ゆいさんのかわいいまんがとイラストで、江戸っ子の生活をのぞいてみましょう!

作者プロフィール  
東京在住の漫画家。時代小説、時代劇好きが高じ、江戸をモチーフにした作品を描くようになる。着物も大好き。隔月発行「ラッキー! クロスワード」(パズルメイト)で「こんにに!」連載中。「江戸の蕎麦屋さん」全2巻(芳文社)、「おいしい落語」(ぶんか社)発売中。大阪出身。  
ホームページ「桐乃葉書房」<https://kirinohasyobou.jimdofree.com/>

## 2020年 NORACOMI (諏訪書房) の主な仕事 (1~8月)

- 1月25日 アパート・マンションオーナー向け情報誌「ポケット倶楽部」(「賃貸経営における危機管理被災時対応編」特集)発行
- 2月 5日 「第139回タスクフォース21例会」開催、「タスクフォース21情報誌No.36」発行
- 2月13日 LPガスセミナー講師派遣(自由化対策。横浜)
- 2月21日 LPガスセミナー講師派遣(切替対策。出雲)
- 3月 3日 障害児音楽教室へマスク寄付
- 4月 8日 「タスクフォース21情報誌No.37」発行
- 4月 9日~ 新型コロナウイルス感染拡大における緊急事態宣言に伴いテレワーク体制推進
- 4月25日 アパート・マンションオーナー向け情報誌「ポケット倶楽部」(「改正民法と賃貸契約」特集)発行
- 4月25日 障害児施設、クリニック、高齢者福祉施設ほかへマスク寄付
- 6月 1日 書籍「真っすぐ、正しく 境家のお話」発行
- 6月 3日 「タスクフォース21情報誌No.38」発行
- 6月16~18日 ガス機器メーカー主催オンラインセミナー設営
- 7月25日 アパート・マンションオーナー向け情報誌「ポケット倶楽部」(「賃貸経営における危機管理災害事前対策編」特集)発行
- 8月 5日 「第140回タスクフォース21例会」開催、「タスクフォース21情報誌No.39」発行

ノラ・コミュニケーションズは  
コミュニケーションにかかわる  
一切をサポートします



## ぜひ、健康本だと誤解して読んでください

### とてもヘイセイではられない

健康と平和をもとめて

中川順一・著 諏訪書房新書 / 1,000円+税 新書判184ページ

宗教の中には、定期的に断食をする宗派がある。きっと、昔の偉い人が妻の言いつけすら守らない中年男の、食べすぎやその他煩惱諸々を抑制させるために、神様が食べるなど言っているぞと脅したのだと思う。しかし私は神を信じることができるだろうか。これは哲学的な問題だ。  
苦悩しつつ、今日もまた夕飯でお代わりをして、寝る前にまた何かを食べる。私は、太ったソクラテスへの道を選ぶ。ソクラテスの妻は、冷蔵庫に鍵をかけると言っている。(本文「ラマダン」より)

全国有名書店  
Amazon  
ノラコミ(直販)で  
発売中!!

